

# 東京日々新聞

九百廿六号



日向國臼井郡永井村にて先月  
十三日明見社の祭禮ありしに  
村の者ども集りて例の村芝居  
と催したるに狂言の劇中巨藏  
と催したるに至りて此村の精藏と  
るに五段目に至りて此村の精藏と  
云ふ者の定九郎と扮し舞臺に出て  
彼の久しかりの五十兩と云ふ件迄首尾  
を行きき今日の出來の精藏兄の定九良  
ありと見物も答ふる君さしよ

勘平は扮したる男をねて狂言  
の攝鏡と持出しタト火蓋と  
切て落さや否や定九良の彈丸は  
打貫れてワンと仰り倒れさるる即ち  
よりと勘平も相済すとて腹を切りしや否や

未だ破報中扱ふ村戯場可笑しき事や有らば  
此精藏の如き指し報ひもりるに  
實に個々の至りたりと人々興と腹  
たもる

一萬齋  
芳樂

甲  
具足屋

75  
70  
65  
60  
55  
50  
45  
40  
35  
30